

成蹊大学社会調査演習 2014年度報告書

—— 第6回 暮らしについての西東京市民調査 ——

成蹊大学社会調査士課程 監修

小林盾 見田朱子 編集





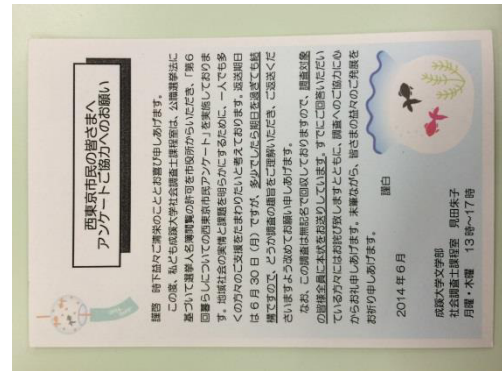
社会調査士課程室



授業風景



送付まえの調査票入り封筒



督促状



担当教員



社会調査士課程室スタッフ

表紙は成蹊大学情報図書館前



1 班



2 班



3 班



4 班



5 班



6 班



7 班



班長

成蹊大学社会調査実習 2014 年度報告書
——第 6 回 暮らしについての西東京市民調査——

成蹊大学社会調査士課程 監修

小林盾、見田朱子 編集

目 次

第Ⅰ部 この調査について

A 調査の概要.....	小林盾、見田朱子	1
B 統計用語.....		9
C 履修者一覧.....		12

第Ⅱ部 調査結果

第 1 章 地域.....	宮尾百合香班	13
第 2 章 誰といると幸せか.....	梅川春奈班	17
第 3 章 ダイエット.....	金子友里班	21
第 4 章 アンチエイジング.....	栞原紗織班	25
第 5 章 不満.....	古條愛梨班	29
第 6 章 幸福意識.....	遠藤佳那子班	33
第 7 章 家族意識.....	新津稜平班	37

第Ⅲ部 資料

A 単純集計表、平均の比較.....		41
B 自由回答.....		64
C 調査票.....		65
D 督促状.....		74

はじめに

本書は、「第6回暮らしについての西東京市民調査」の報告書です。成蹊大学文学部現代社会学科の「社会調査演習」という授業の一環として、2014年6月から7月にかけて東京都西東京市で実施しました。こうした調査は2006年度にはじまり、今回が9回目となります。

調査では、人びとが暮らしや地域についてどのように考えているのかを、明らかにすることを目的としました。そこで、成蹊大学が隣接する西東京市で、22～69歳の市民500人を選挙人名簿から無作為に選んで対象として、郵送調査を行いました。有効回収数308人、有効回収率61.8%です。

授業は、教員2名と学生で進めました。社会調査士課程の実習科目でもあり、全員が課程履修者でした。学生は関心のあるテーマごとに班に分かれて、調査票作成からデータ分析まで行います。毎週宿題が出るため、授業時間外での活動のほうが長かったようです。

以下は、「この調査について」「調査結果」「資料」という3つの部で構成されています。調査結果では、西東京市の人びとの姿を、さまざまな角度から浮かびあがらせることを目指しました。今回西東京市を事例として得られた知見は、地域活性化への課題など、他の地域でも当てはまることがあるかもしれません。今後も成蹊大学社会調査士課程では、同様の調査を続けていき、成果を地域社会に積極的に還元していきたいと考えています。

この調査を実施し、報告書を作成するにあたって、多くの方々からご協力いただきました。はじめに、回答してくださった方々に深く感謝いたします。選挙人名簿の閲覧では、西東京市選挙管理委員会の方々に大変お世話になりました。

成蹊大学文学部の先生方（とりわけ現代社会学科の先生方）、高瀬正弘氏、坂田寛子氏、酒井麻里氏、鈴木はるか氏はじめ成蹊大学教務部の方々、成蹊大学高等教育開発・支援センターの方々には、社会調査士課程の運営環境を整えていただきました。

なお、この報告書は西東京市役所、市内図書館、成蹊大学図書館、成蹊大学ホームページでもご覧いただけます。

2015年1月 成蹊大学社会調査士課程

成蹊大学文学部現代社会学科 教授 小林盾

成蹊大学文学部現代社会学科 社会調査士課程室 非常勤助手 見田朱子

この調査について A 調査の概要

小林盾、見田朱子

第 1 節 調査の概要

(1) 調査名

第 6 回（2014 年）暮らしについての西東京市民調査。略称は 2014 年西東京市調査。

(2) 調査実施者、調査実施責任者

実施者：成蹊大学社会調査士課程。

実施責任者：小林盾（成蹊大学文学部現代社会学科 教授）、見田朱子（成蹊大学文学部現代社会学科 非常勤助手）。

(3) 調査方法と調査期間（詳細は第 4 節参照）

郵送調査を 2014 年 6/19（木、調査票発送）～8/6（最後の調査票到着）におこなった。返送期限は 6/30（月）。督促状を 6/26（木）に発送。

(4) 母集団

2014 年 12 月 31 日時点で満 22～69 歳の西東京市民男女（1945 年 1 月 1 日～1992 年 12 月 31 日生まれ）。2014 年 6 月 1 日時点での全人口は約 19 万 5000 人。うち 22～69 歳は約 12 万 4000 人（2014 年 6 月 1 日付西東京市発表の日本人住民登録人口より）。

(5) 計画標本

500 人。予備標本は使用していない。

(6) 抽出方法（詳細は第 3 節参照）

二段無作為抽出法。地点として 10 の選挙区を、人口規模を考慮して系統抽出した。そのうえで、各地点から 50 人を選挙人名簿で系統抽出した。

(7) 有効標本、有効回収数、有効回収率（詳細は第 5 節参照）

498 人、308 人、61.8%（308÷498）。

(8) 謝礼

500 円の図書カード、Seikei ロゴ入りのボールペン。調査票に同封して先渡しとした。

第2節 調査の目的

この調査の目的は、人びとが地域の中でどのように生活しており、地域についてどのように考えているのかを明らかにすることにある。現代社会では、グローバリゼーションが進む中で、ややもすれば地域社会との関わりが少なくなっているかもしれないからである。

そのために、成蹊大学の北部にある東京都西東京市を事例として取りあげた。西東京市は、東京都心部の近郊住宅地でありながら、自然も多く残している。この点で、日本社会の都市部の縮図といえるかもしれない。

なお、この調査は成蹊大学社会調査士課程における教育の一環であり、社会調査演習（社会調査協会の定める社会調査士カリキュラム G 科目）という授業の中で実施された。2006～2010 年の 5 回は成蹊大学のある東京都武蔵野市を、2011 年からは東京都西東京市を対象としている。西東京市調査としては、第 1 回が 2009 年に成蹊大学アジア太平洋研究センター共同プロジェクトとして、第 2 回が 2010 年に科学研究費補助金プロジェクトとして実施された（どちらも小林盾が代表）。

第3節 標本の抽出方法

(1) 地点の抽出

選挙区を単位とした。西東京市の全 29 選挙区から 10 選挙区を地点として、人口規模を考慮し系統抽出した。

(2) 個人の抽出

西東京市役所にて選挙人名簿を閲覧して、計画標本 500 人を系統抽出した。各地点から 50 人ずつとした。抽出間隔は 25 人で固定した。スタート番号は、あらかじめ各地点ごとに、母集団人数の範囲内でランダムに準備した。

サンプリングの手続きは、見田が西東京市役所にておこなった。選挙人名簿抄本閲覧申出書、調査企画書、調査票、選挙人名簿閲覧者一覧表を提出した。

サンプリング作業は、5/29（木）午前 9：30～12：00、教員 2 人（小林と見田）、協力員（アジア太平洋研究センター特別研究員 大崎裕子）と学生 14 人でおこなった。

第4節 調査の実施方法

(1) 郵送調査

調査票、返信用封筒（切手貼付ずみ）、謝礼を封入して、封筒にて送信した（木曜日に発送して週末に届くようにした）。また、督促状を葉書で全員に発送した（返送期日直前の木曜日）。

なお、事前の告知や過去の報告書の同封は、おこなわなかった。

(2) 問い合わせ

電話による問い合わせが 1 件あり、訪問による問い合わせはなかった。

(3) データ入力

2 人一組となり、入力フォームで入力した(2 時間でほぼ 20 票分)。入力は別々に 2 回行い、この 2 回の入力結果を Excel を用いて照らし合わせて相違をチェックし、入力データを確定させた。

(4) データクリーニング

無回答には「999」を割りふった。○が指定より多い場合は、サイコロを使用して選んだ(以上エディティング)。その後、アフターコーディングとロジカルチェックをおこなった。

第 5 節 回収状況

(1) 有効回収率

61.8%であった(計画標本 500 人、有効標本 498 人、有効回収 308 人)。これまでにについては、第 8 節 (6) 参照。

なお、これまでの回収率の変化と要因について、2009 年に数理社会学会大会で報告し(小林盾「回収率 70%への挑戦：郵送調査の可能性」第 47 回数理社会学会大会報告要旨集収録、2009 年 3 月 8 日、京都産業大学)、2013 年には日本社会学会で報告された(小林盾「回収率 70%への挑戦：郵送調査の可能性」第 86 回日本社会学会大会、2013 年、慶應義塾大学)。

(2) 無効票、調査拒否

無効票は 2 票であった(住所不明による返送など)。

調査拒否は 9 票あった(8 票は調査拒否あるいは不可能として白紙で、1 票は受取拒否として返送された)。

(3) 性別、年齢別の回収率

第 8 節 (4) の表のとおりとなった。

(4) 時系列での回収数

グラフのとおりとなった。かもめーる葉書での督促状を 1 回発送し、効果はあったようである。

第 6 節 東京都西東京市について

東京都西東京市は東京 23 区の西側にあり、練馬区に接する。西東京市には西武池袋線と西武新宿線がとおり、池袋、新宿まで約 20 分である。2001 年に保谷市と田無市が合併して生まれた。

人口は約 20 万人、世帯数は約 9 万である。人口密度は約 12,000 人(平方キロメートルあたり)で、市町村別で全国 4 位である(1 位東京都 23 区、2 位埼玉県蕨市、3 位東京都武蔵

野市)。産業別では、第1次産業従事者がわずか、第2次産業約1割、第3次産業約8割となっている。

第7節 成蹊大学社会調査士課程について

成蹊大学文学部現代社会学科では、2004年度から社会調査士課程を設置して、社会調査協会発行の社会調査士資格の取得に対応している。学生は1年次から3年次まで6つ（または7つ）の授業を履修することで、資格を取得できる。社会調査士課程室を中心に授業がおこなわれ、助手が学習をサポートしている。

この調査は、2006年度に開始された。3年次配当の社会調査演習（2012年度より科目名が社会調査実習から変更）において、授業の一環として実施された。授業は毎週社会調査士課程室でおこなわれ、1年間のカリキュラムとなっている。

第8節 図表

(1) 日程

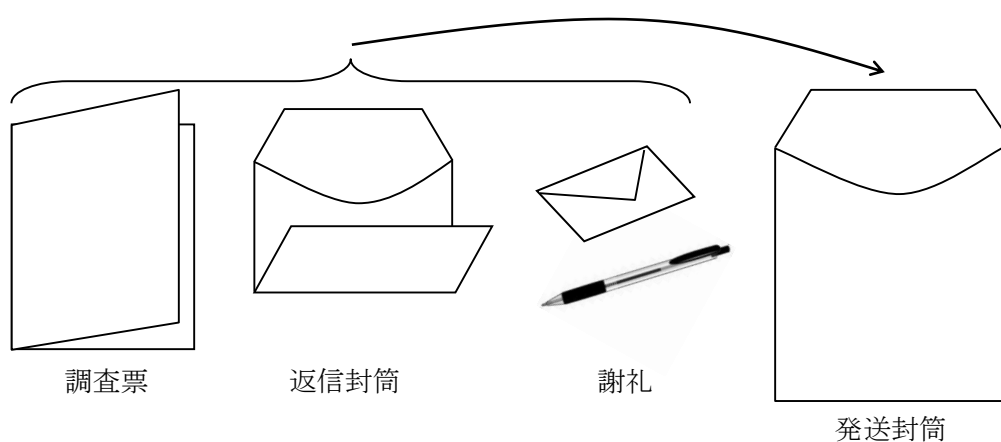
調査の進行	
4月	(前期授業開始) テーマと仮説を設定する、フィールドワークをする
5月	質問をつくる、調査票を作成する、サンプリングする(市役所にて)
6月	調査を実施する(調査票発送と回収)
7月	データを入力する
8月	(夏休み)
9月	(後期授業開始) 集計する
10月	平均を比較する、カイ二乗検定をおこなう
11月	仮説を検証する、インタビューする
12月	報告書を作成する
1月	報告書完成
2月	専修大学見田朱子ゼミと合同発表会

(2) 地点の抽出.

調査	実施年	対象地域	抽出された地点	地点の抽出方法
第1回	2006年	武蔵野市	吉祥寺南町2丁目、吉祥寺北町5、中町1、西久保1、緑町2、境1、境南町5、桜堤2	丁を単位として単純無作為(人口規模を考慮しない)
第2回	2007年	武蔵野市	吉祥寺東町2丁目、吉祥寺南町4、吉祥寺本町3、吉祥寺北町4、八幡町1、関前2、境3、境南町4	丁を単位として系統抽出(人口規模を考慮しない)
第3回	2008年	武蔵野市	吉祥寺東町3丁目、吉祥寺南町5、吉祥寺本町4、吉祥寺北町3、中町3、緑町3、境2、境南町3	丁を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第4回	2009年	武蔵野市	吉祥寺東町4丁目、吉祥寺本町1、吉祥寺北町2、西久保3、関前3、境南町2	丁を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第5回	2010年	武蔵野市	吉祥寺南町1丁目、御殿山2、吉祥寺北町1、西久保2、関前4、境南町5	丁を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第6回	2011年	西東京市	全34選挙区から10選挙区(第3、6、9、11、15、17、21、25、29、32選挙区)	選挙区を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第7回	2012年	西東京市	全34選挙区から10選挙区(第1、5、8、10、14、17、20、24、28、31選挙区)	選挙区を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第8回	2013年	西東京市	全29選挙区から10選挙区(第2、4、7、10、13、15、18、21、24、17選挙区)	選挙区を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第9回	2014年	西東京市	全29選挙区から10選挙区(第2、5、8、11、13、16、19、22、25、28選挙区)	選挙区を単位として系統抽出(人口規模を考慮)

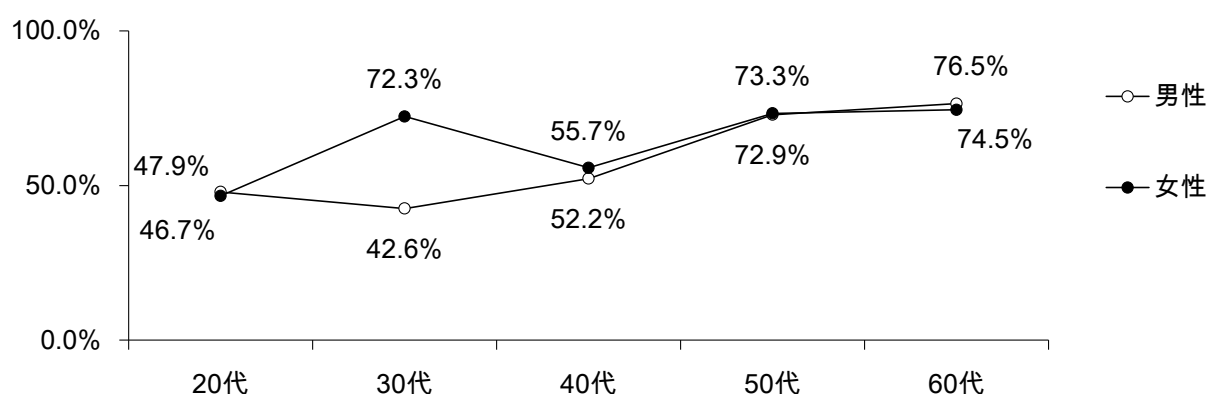
(3) 郵送調査の仕様と作業内容

	仕様	作業内容
調査票	A3 用紙 2 枚に両面印刷（業者依頼）。厚口、2 色（外側、内側）の冊子。右端を 4 ミリほどずらした	
発送封筒	「社会調査士課程室」名入り角 2 号封筒、下部に「西東京市民のみなさまへ アンケートのお願いが入っています」と「謝礼が入っています」と朱字で印刷。記念切手使用	宛て先シールと 140 円記念切手を貼付
返信封筒	「社会調査士課程室」名入り角 2 号封筒、返送先を「社会調査士課程室」と印刷、下部に「アンケート回答在中」と印刷	140 円切手を貼付。2 つ折り
督促状葉書	官製葉書（かもめ〜る使用）	文面をコピー印刷。宛て先シールを貼付。
謝礼	500 円の図書カード（紙ケース入り）。 Seikei ロゴ入りのボールペン	
留守番電話	6/19～9/20 設置、「はい、成蹊大学社会調査士課程室です。開室時間は、月曜、水曜、木曜の 10 時から 17 時です。ただいま電話に出ることができません。恐れ入りますが、発信音のあとにご用件をお話し下さい」と録音	
大学ホームページ	6/19 以降にアナウンス、「新着情報・お知らせ」欄に「社会調査士課程室でアンケート調査を実施」として調査概要とリンク	



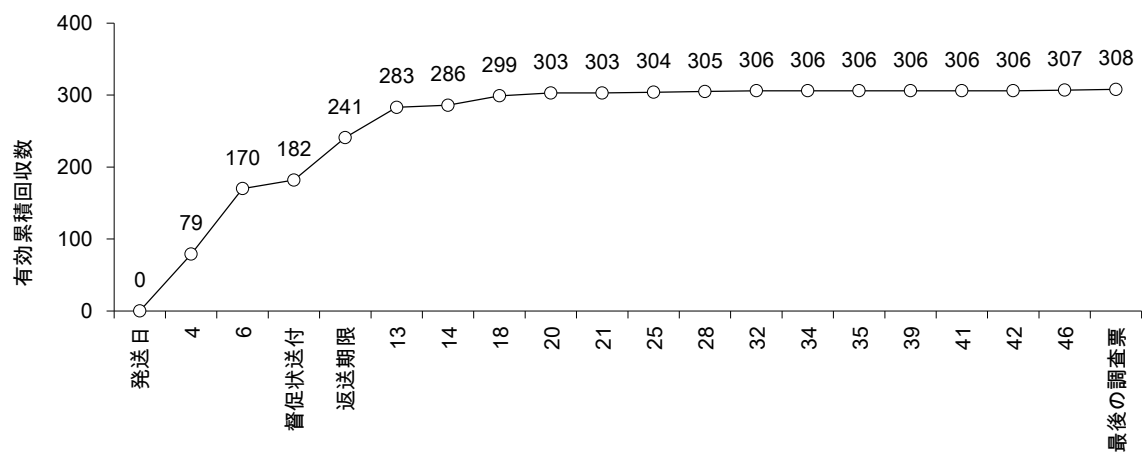
(4) 性別、年齢別の有効回収数（カッコ内回収率、性別年齢不明ケースを除く）

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	23人 (47.9%)	20人 (42.6%)	35人 (52.2%)	43人 (72.9%)	26人 (76.5%)	139人 (54.5%)
女性	14人 (46.7%)	34人 (72.3%)	34人 (55.7%)	44人 (73.3%)	35人 (74.5%)	169人 (69.0%)
合計	37人 (47.4%)	54人 (57.4%)	69人 (53.9%)	87人 (73.1%)	61人 (75.3%)	308人 (61.6%)

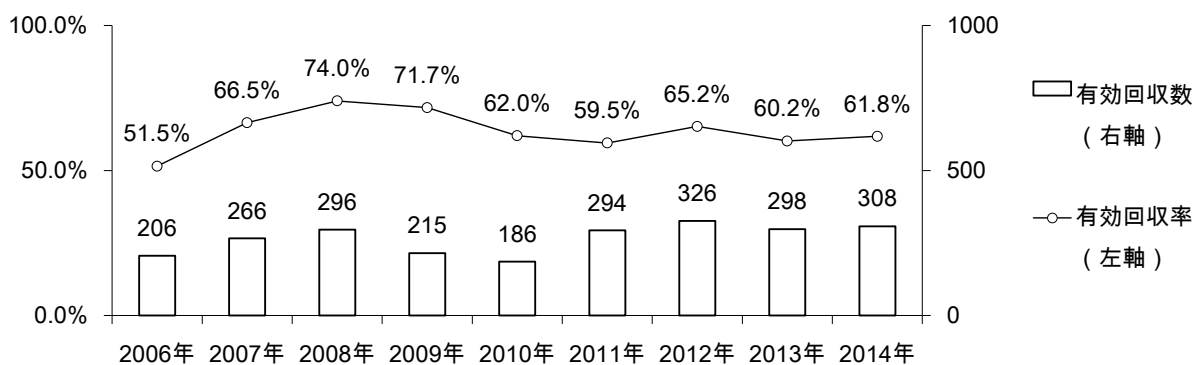


(5) 時系列での回収数

		日数	有効回収数	有効累積回収数	有効回収率
発送日	6/19 (木)	0	0	0	0.0%
	6/23 (月)	4	82	79	15.8%
	6/25 (水)	6	93	170	34.1%
督促状送付 返送期限	6/26 (木)	7	12	182	36.5%
	6/30 (月)	11	61	241	48.4%
	7/2 (水)	13	44	283	56.8%
	7/3 (木)	14	3	286	57.4%
	7/7 (月)	18	13	299	60.0%
	7/9 (水)	20	4	303	60.8%
	7/10 (木)	21	0	303	60.8%
	7/14 (月)	25	2	304	61.0%
	7/17 (木)	28	2	305	61.2%
	7/21 (月)	32	1	306	61.4%
	7/23 (水)	34	0	306	61.4%
	7/24 (木)	35	0	306	61.4%
	7/28 (月)	39	0	306	61.4%
	7/30 (水)	41	0	306	61.4%
	7/31 (木)	42	0	306	61.4%
	8/4 (月)	46	1	307	61.6%
最後の調査票	8/6 (水)	48	1	308	61.8%



(6) これまでの有効回収率と有効回収数（2006～8年計画標本400、2009～10年300、2011～2014年500）



この調査について B 統計用語

小林盾

1 母集団と標本

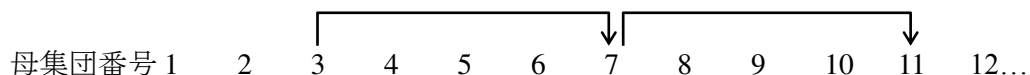
調査で知りたい人の全体を、母集団とよぶ。予算、時間、人員などに制限があるときは、母集団の一部を、標本として調査する。この調査では、母集団である 22～69 歳の西東京市民は約 12 万人おり、標本である調査対象者は 500 人であった。

2 無作為抽出（ランダムサンプリング）と有意抽出

標本の各個人を同じ確率で選ぶことを、無作為抽出する（ランダムサンプリングする）という。標本が無作為抽出されたなら、調査対象者（標本）は、たとえ人数が少なくても、全体（母集団）の偏らない縮図とみなすことができる。無作為抽出されていないとき、「有意抽出された」という。この調査は、標本を無作為抽出している。

3 系統抽出法

無作為抽出をするための簡便な方法に、系統抽出法がある。これは、母集団から標本を等間隔に選んでいく方法である（ただし完全な無作為抽出法にはならない）。まず、1 人 1 人に母集団番号を振ってから、スタート番号を無作為に決めて、最初の標本とする。そのあとで、スタート番号から等間隔に、残りの標本を選ぶ。たとえば、スタート番号が 3 で、間隔が 4 であれば、つぎのように母集団番号 3、7、11、... が標本として選ばれる。



この調査では、選挙人名簿から調査対象者を選ぶときに、系統抽出法を用いた。地点ごとに、スタート番号を 2,124 などとし、間隔は 25 で共通とした。

4 単純集計表

ある質問（変数という）のなかで、どの選択肢に何人が回答したかを集計したものが、単純集計表である（度数分布表ともいう）。下の表は、性別についての単純集計表である。有効回答者のなかに女性が 58.6%いて、男性 41.4%よりやや多いことが分かる。

単純集計表				
	人数	%	有効%	累積%
0 女	109	58.0	58.6	58.6
1 男	77	41.0	41.4	100.0
有効回答計	186	98.9	100.0	
999 無回答	2	1.1		
合計	188	100.0		

5 平均

平均は、変数を1つの数字で代表させて、いわば重心を表す。つぎの式で計算される。値が1と0なら、平均は比率（または割合）とよばれ、%で表せる。全体の平均とともに、男女別、年齢別などグループ別に平均を比較することがある。

$$\text{平均} = \frac{\text{個人1の値} + \text{個人2の値} + \dots}{\text{合計人数}}$$

6 標準偏差

標準偏差は、ある変数の「散らばり」の度合いを1つの数字で表す。つぎの式で計算されて、0以上の値になる。

$$\text{標準偏差} = \sqrt{\frac{(\text{個人1の値} - \text{平均})^2 + (\text{個人2の値} - \text{平均})^2 + \dots}{\text{合計人数} - 1}}$$

7 カイ二乗値

カイ二乗値とは、性別とサッカーファンなど、2つの質問のクロス表を作成した際に、どれくらい関連しているのかを、1つの数字で表す。ここで、セルとは個々の値の具体的な数値が記載されている箱のことを、観測度数とは実際に調査でえられたケース数を、期待度数とは変数間に関連がない（独立な）ときに想定されるケース数を意味する。期待度数では、2変数に関連がないため、行パーセントが男女で一致する。

クロス表（観測度数）			クロス表（期待度数）		
	サッカーファン	ファンでない		サッカーファン	ファンでない
男性	39 (25.7%)	113 (74.3%)	男性	29.8 (19.6%)	122.2 (80.4%)
女性	23 (14.0%)	141 (86.0%)	女性	32.2 (19.6%)	131.8 (80.4%)
合計	62 (19.6%)	254 (80.4%)	合計	62 (19.6%)	254 (80.4%)

カイ二乗値はつぎの式で計算されて、0から無限大の間となる。

$$\text{カイ二乗値} = \frac{(\text{セル 1 の観測度数} - \text{セル 1 の期待度数})^2}{\text{セル 1 の期待度数}} + \frac{(\text{セル 2 の観測度数} - \text{セル 2 の期待度数})^2}{\text{セル 2 の期待度数}} + \dots$$

このクロス表では、カイ二乗値は 6.770 となる。カイ二乗値が大きいほど、2 変数間の関連が強い。カイ二乗値が 0 の場合には、2 変数には関連がまったくないことを意味する。

8 有意確率とカイ二乗検定

有意確率は、3%や 1%など小さいほど、標本での関連や差が大きいことを表す。統計学では一般に、有意確率が 5%未満のときに、関連や差が十分に大きくて、母集団でも関連や差があることが保証される。

たとえば、上のクロス表で有意確率が 4%だったとする。すると、「カイ二乗検定の結果、性別とサッカーファンであることは、有意に関連している」という。この場合、男性ほど、有意にサッカーファンであることがわかる。

この調査について C 履修者一覧

担当教員

小林盾（文学部現代社会学科 教授）

見田朱子（文学部現代社会学科 非常勤助手）

履修者（文学部現代社会学科 3 年生 4 年生 31 名）

安念 綾香

糸嶺 柁人

内田 知佳

梅川 春奈（班長）

遠藤佳那子（班長）

大竹 礼華

大竹 心平

小田原佑汰

楫田 知子

勝瀬 恭子

加藤 元気

金田 萌瑛

金子 友里（班長）

木原 睦

栞原 沙織（班長）

今野 早智

齊藤 明美

齊藤 優姫

清水明日香

杉山 友美

戸谷 瞳

仲澤 桃子

長沼 礼子

那須 葵

新津 稜平（班長）

沼田 由奈

濱 彩華

古條 愛梨（班長）

古山 尚貴

宮尾百合香（班長）

柳沼 梨紗

第 1 章 治安

——西東京市のよいところはなにか——

宮尾百合香（班長）

糸嶺柁人（分析担当）、楫田知子（発送担当）、今野早智（入力担当）、長沼礼子（調査票担当）

第 1 節 問題関心

『平成 25・26 年版西東京市暮らしの便利帳』によれば、西東京市は 2001 年 1 月 21 日に旧田無市と旧保谷市が合併した。田無市は江戸時代より青梅街道の宿場町として栄えた。昭和以降工場の進出などにより、1967 年に市制が施行され、全国で四番目に小さい市となった。旧保谷市は、大岡越前守が検地を行い、江戸時代から戦後まで農村地域であったが、宅地化により田無市と同年 1967 年に市となった。その後平成の大合併により、2001 年 1 月 21 日に、21 世紀最初の市町村合併として田無市と保谷市が合併して西東京市が誕生した。

同『暮らしの便利帳』によれば、現在の西東京市の人口は、男性 96,949 人女性 100,856 人の計 197,805 人であり、面積は 15.8 平方キロメートルである。

では、西東京市において、住民は自身が住む町の治安をどのように感じており、それが生活満足の度合いや住民の質に対する印象とどう関連しているのだろうか。そこで、以下の仮説をたてた。

仮説 1：女性ほど、治安に敏感なため、西東京市の治安がよいと感じているだろう。既婚者ほど、子どもの安全を意識せざるをえないため、西東京市の治安がよいと感じているだろう。

仮説 2：西東京市の治安がよいと感じている人ほど、地域の人たちとの関わりを持ち、他の住民と仲が良くなるため、西東京市の住民の質がよいと感じているだろう。安心して暮らせるため、生活満足度が高いだろう。

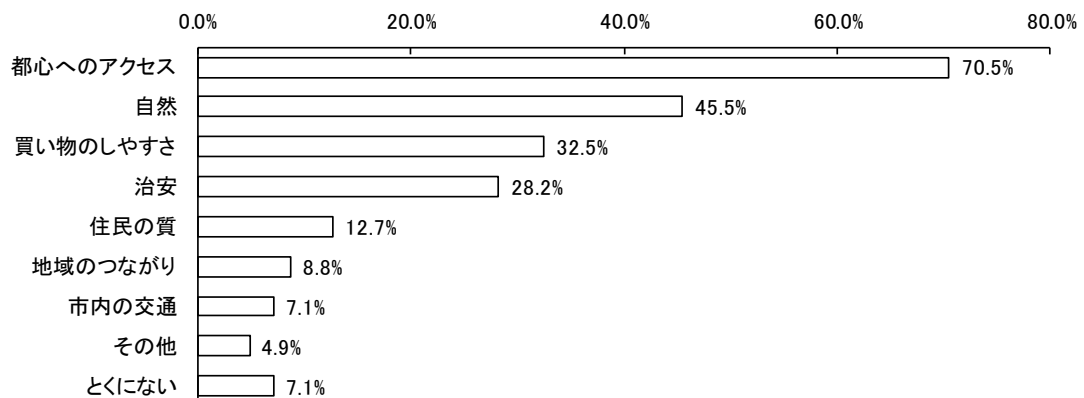


メンバー



フィールド調査 田無駅前パトロール

問 2 西東京市のよいところは、何だと思いますか（〇はいくつでも）



第 2 節 集計結果

問 2 で、西東京市のよいところについて質問した。単純集計表から、都心へのアクセスがもっとも多く 70.5%だった。続いて、自然が 45.5%、買い物のしやすさが 32.5%であった。治安は 4 番目で、28.2%の人が西東京市のよいところと答えた。

自然がよいと思っている人は、想像通り多かった。長沼は、新宿から電車に乗って西東京市を訪れた際、あまり行きやすさを感じなかった。とはいえ、西武池袋線であれば池袋へ、西武新宿線なら高田馬場へ直結しているため、都心へのアクセスを選んだ人が多いのはなるほどと思った。

第 3 節 原因の分析

第一に、よいところが治安と考えたのは、男性のうち 24.5%、女性のうち 31.4%だった。しかし、カイ二乗検定の結果、有意な違いはなかった。私たちは、女性ほど日頃から治安を重視するので、治安がよいと考えるだろうと予想した。しかし、治安に対する取り組みは女性に対して特化しているわけではないので、男女で違いがなかったのかもしれない。楫田と宮尾は、田無駅前にてパトロールをしている男性を見かけ、立ち話をした。その際、パトロールによって安心感を得る人は、女性に限らず多いだろうと感じた。

第二に、よいところが治安と考えたのは、既婚者のうち 27.3%、未婚者のうち 29.7%だった。しかし、カイ二乗検定の結果、有意な差はなかった。子どもがいると、治安への取り組みの恩恵を受けていると予想した。しかし、西東京市の治安に対する取り組みは、子どもに対する施策があるものの、あまり周知されていないため、婚姻状況で差がなかったようである。以上から、仮説 1 は支持されなかった。

第 4 節 結果の分析

第一に、住民の質がよいと思う人は、治安がよいと答えた人のうち 23.0%、そうでない人

のうち 8.6%だった。カイ二乗検定の結果、治安がよいと答えた人ほど、西東京市の住民の質がよいと有意に思っていた。治安がよいと思っている人は積極的に地域の活動に参加し、地域の人と交流する機会が増えるため、住民の質がよいと思うのであろう。実際、糸嶺は町内会主催の地元のお祭りに参加した際、地元の人達の人柄の良さを感じた。

第二に、生活に満足している人は、治安がよいと答えた人のうち 84.9%、そうでない人のうち 69.9%だった。カイ二乗検定の結果、治安がよいと答えた人ほど、生活満足度は有意に高かった。治安がよいと思っている人は生活する上で安全面での心配が少ないため、満足しているのだろう。以上から、仮説 2 は支持された。

第 5 節 フィールド調査

2014 年 5 月に、楫田、今野、長沼、宮尾が、西東京市役所田無庁舎でフィールド調査を実施した。市役所から西武柳沢駅まで歩くことで、街並みや住民の様子を観察した。市役所にはイベントのチラシがたくさん置いてあり、地域内の催し物が多いという印象だった。平日の午前中だったせいか、人通りはあまり多くなく、駅前以外は、静かな住宅地が多いという印象であった。高層ビルは少なく、途中に寄った田無神社には自然が豊富だと感じた。今野は、街の中に駐輪場が多く、自転車に乗っている人もよく見かけるという印象を受けた。

2014 年 10 月に、糸嶺は自転車で西東京市内を循環した。西武新宿線と西武池袋線の間位置する辺りは軒並み住宅街で、谷戸周辺など所々に畑が散見された。保谷駅北口周辺は、バス便がコミュニティバス「はなバス」一系統のみであった。特産の保谷梨の畑があった。西武新宿線の南側は、向台町や新町など、住宅街の中に時折キウイ畑が混じる。全体的に、旧田無市と旧保谷市とで、特段雰囲気の違いはないと感じたが、保谷駅北口周辺は接する埼玉県新座市と雰囲気が近いように感じた。また、駅から離れたところも住宅地であったが、鉄道の駅がないところはバスに頼らざるを得ないようだった。

第 6 節 インタビュー調査

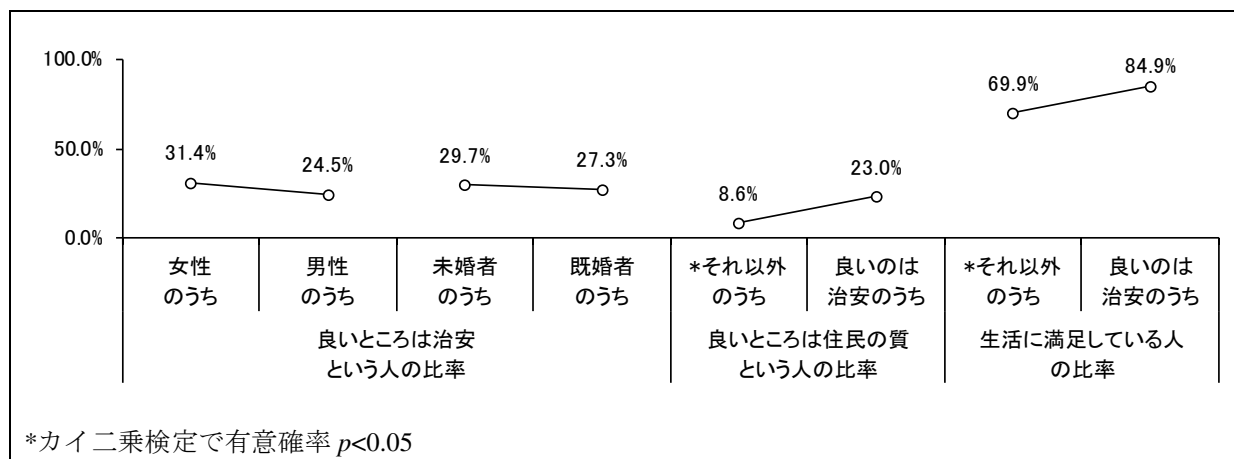
2014 年月に、西東京市秘書広報課の職員 A さんにインタビューを実施した。40 代くらいの男性であった。西東京市役所田無庁舎にて、とても丁寧に対応していただいた。

楫田「西東京市では、治安に関してどのような取り組みをおこなっていますか」

A さん「民生委員の設置や、子どもが危険を感じた時に逃げ込める建物への張り紙、パトロールの実施といったことが、犯罪への抑止力になっていると思います。財源が限られているので、市と市民が一緒に活動し、自分で出来る範囲のことは自分でやってもらうなど、市民の皆さんの協力が欠かせません」

宮尾「私たちの調査では、性別や婚姻状況によって治安がよいと答えた人の割合に差がなかったのですが、どうしてでしょうか」

A さん「親子で参加する防犯のイベントでは、お母様だけでなく、お父様もたくさん参加されていますし、土地柄、繁華街があまりなく、女性が危険を感じる事が少ないと思いま



す。そのため、男女では差がなかったのではないのでしょうか。お子さんに対する取り組みが比較的多いので、婚姻状況で差がないというのは少し意外です」

宮尾「治安がよいと答えた人ほど、住民の質もよいと答えていました」

Aさん「西東京市では、今『協働』をキーワードに、自治会の支援などを通じて、地域のつながりに力を入れ始めています。イベントや防犯に関する取り組みなどによって、高齢の方々と若い人や子どもがよい影響を与えあえる街になりつつあるので、そのあたりが、住民の質の高さとして表れたのだと思います」

最初に治安に対する取り組みについて伺った際は、他の市と比べて突出したところはないとおっしゃっていた。ところが、詳しくお話を伺ううちに、「地域の協働」を重視しているという特色がみえてきた。

第7節 感想

治安は私たちが生活するうえで重要な関心事である。調査にあたって自分の住んでいる地域の防犯について思い出したり、西東京市と比較したりすることによって、治安の重要性を再確認することができた。ただ、「治安がよい」と答えた人がどういった人なのか想像するのが難しく、仮説をたてることに苦労した。

今回の調査を通して、限られた財源のなかで地域の治安を良くするためには、行政と住民の協力が重要であるということがわかった。その一環として地域活動が活発になれば、住民にとって、より住みやすい街になるだろう。すなわち、治安に対する取り組みは、住民に愛される街に必要な不可欠なものであるといえよう。

第2章 幸せのパートナー

——誰といるときに幸せを感じるのか——

梅川春奈（班長）

加藤元気（発送、入力担当）、齊藤優姫（分析担当）、柳沼梨紗（調査票担当）

第1節 問題関心

大石繁宏『幸せを科学する』によれば、古代ギリシアの哲学者アリストテレスは、人生の最終目的は幸せであり、人間以外の動物は幸せな生涯を送っているとはいえないとした。幸せとは、人間にとって永遠のテーマなのだ。

内閣府「国民生活選好度調査」によれば、現在の幸せを0から10の11段階で表すと、日本人の幸せは2011年に平均6.41であった。2009年は6.47、2010年は6.46であり、やや低下したものの、大きな変化は見られなかった。日本人の幸福感は安定しているようである。

では、人はどのような人と一緒にいると幸せを感じているのだろうか。そこで私たちは、以下の仮説をたてた。

仮説1：女性ほど、食事や掃除など身の回りのことを行うことができるので、一人でいると幸せを感じるだろう。未婚者ほど、自由な時間が多く、やりたいことができるので、一人でいると幸せを感じるだろう。

仮説2：一人でいると幸せを感じる人ほど、自分の時間を優先させたいため、友人といっても幸せを感じないだろう。一人でいると幸せを感じる人ほど、自分のペースで好きなことができるので、生活に満足しているだろう。

第2節 集計結果

問6で、誰といるときに幸せを感じるかについて質問した。単純集計表から、配偶者以外

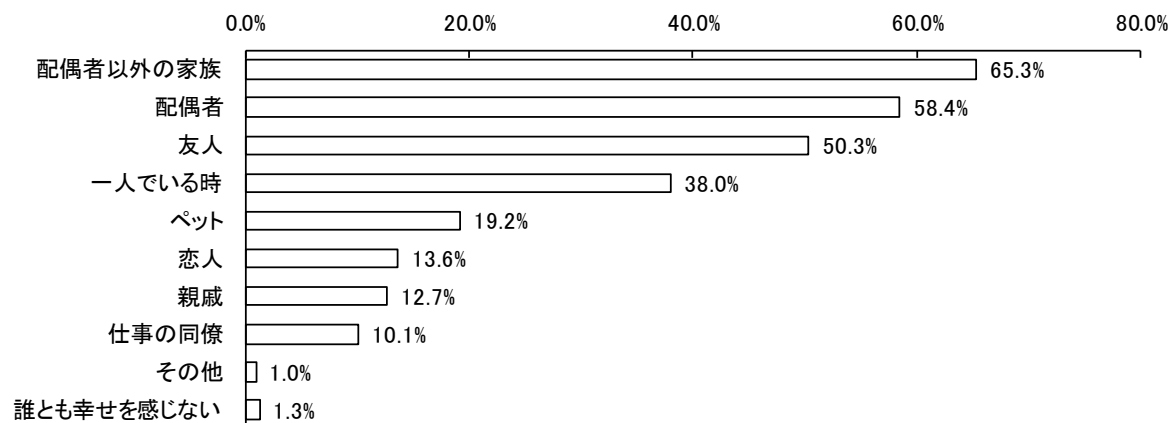


メンバー



インタビュー調査 映画館内カフェ

問 6 あなたは、誰といるときに幸せを感じますか（〇はいくつでも）



の家族といると幸せな人が最も多く 65.3%いた。続いて、配偶者といると幸せだと感じる人が 59.0%と多かった。友人といると幸せだと感じる人は 58.4%いた。いっぽう、一人であるときに幸せだと感じる人が 38.0%いた。

配偶者以外の家族や配偶者といると幸せだと感じる人、友人といて幸せだと感じる人は予想通り多かった。梅川も普段一人で過ごすことは好きではあるが、一人でいて幸せだと感じる人が思っていたより多く、意外だった。

第 3 節 原因の分析

第一に、一人でいるときに幸せを感じたのは、女性のうち 45.5%、男性のうち 29.7%だった。カイ二乗検定の結果、女性ほど一人でいるときに有意に幸せを感じた。私たちは、女性ほど身の回りのことを自分でできて不自由を感じないため、一人でいるときに幸せを感じるのではないかと予想した。柳沼は女子高出身で、被服や調理の検定を授業の一環として受けた経験がある。

第二に、一人でいるときに幸せを感じたのは、未婚者のうち 46.5%、既婚者のうち 34.3%だった。カイ二乗検定の結果、未婚者ほど一人でいるときに有意に幸せを感じた。未婚者は既婚者に比べ自由な時間が多く、やりたいことができるためこのような結果になったのだろう。既婚者は、一人でいるときよりも家族と過ごすときにより幸せを感じるようだ。以上から、仮説 1 は支持された。

第 4 節 結果の分析

第一に、友人といるときに幸せを感じる人は、一人でいるときに幸せを感じる人のうち 60.7%、そうでない人のうち 44.7%だった。カイ二乗検定の結果、一人でいるときに幸せを感じる人ほど、友人といるときに有意に幸せを感じた。これは仮説とは逆の結果であった。一人でいるときに幸せを感じる人は一人の時間だけが大切だと思っているのではないかと思ったが、友人といる時間も同じくらい大切だと考えているようだ。一人でいても幸せを感じ

られるのだから、友人といるときにはさらに幸せを感じることができるのだろう。

第二に、生活に満足していたのは、一人でいるとき幸せを感じる人のうち 80.0%、そうでない人のうち 71.2%だった（生活満足は問 13 で現在の生活について、2 やや満足、1 非常に満足の合計）。カイ二乗検定の結果、一人でいるときに幸せを感じている人も、それ以外の人も、同じくらい生活に満足していた。一人でいるときに感じる幸せは、生活満足とはまた違うところにあるのだろう。以上から、仮説 2 は支持されなかった。

第 5 節 フィールド調査

2014 年 12 月に、加藤が武蔵境の焼肉屋へ一人でいき、フィールド調査を実施した。一人で焼き肉に行くのは初めてのことであった。他にも一人焼肉をしている客は多くはなかったが、いることはいた。一人焼肉をしているのは、50 代の男性客に多かったのが印象的であった。加藤にとって、家族や友人たちと食べている客がいる中、一人で食べるのは、周囲からするとなかなか寂しい雰囲気であった。とはいえ、食べている本人としては、それほど気にならないものだった。

第 6 節 インタビュー調査

2014 年 11 月に、都内の映画館内に併設するカフェにて、店員の T さんと、実際に一人でカフェを訪れていた A さんにインタビュー調査を実施した。T さん、A さんはともに 20 代女性であった。カフェ内にて終始和やかな雰囲気で行われた。

柳沼「一人でカフェを訪れる方って多いのでしょうか？」

店員 T さん「平日は一人で来られるお客様は結構いますね。平日の朝から夕方になる前あたりはとくに多いです。夕方から夜にかけては一人の方より友人や恋人といらっしゃる方が多いですけど。あと休日は家族や友人など誰かと来られる方が圧倒的に多く、一人で来られる方はあまり見かけないですね」

柳沼「一人で利用する女性の方は、男性に比べて多いように感じますか？」

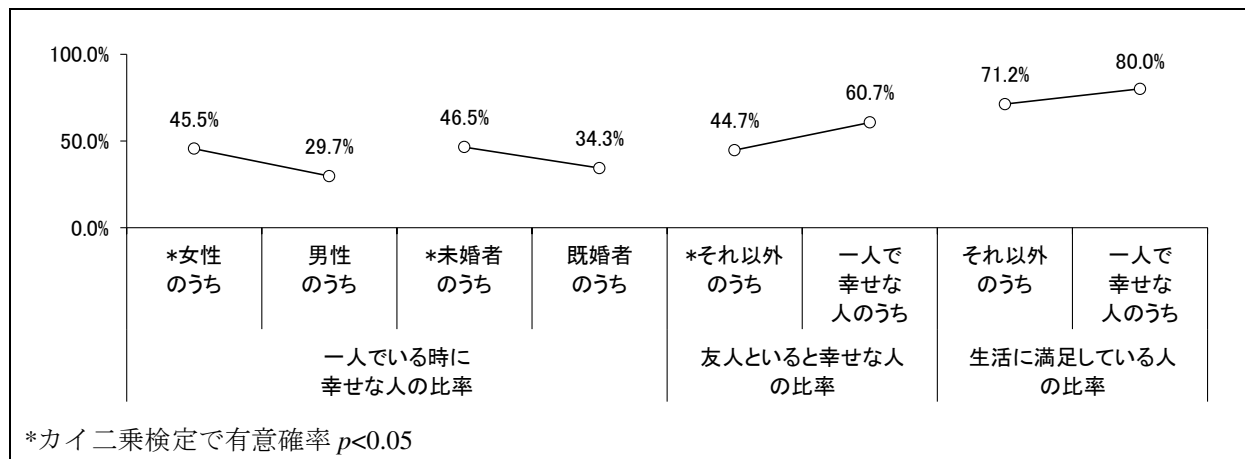
店員 T さん「特別女性の方が多いと感じたことはないです。このカフェでは期間によって映画作品とコラボレーションするので、その時の作品によって変わってきます」

柳沼「それでは、同じ女性として、一人でカフェを利用している女性の方をどう思いますか？」

店員 T さん「ここはカフェの利用と共に映画も鑑賞されるお客様がほとんどなので、好きな映画を観る合間にカフェでくつろいで頂いているのを見ると、自分の時間を有効活用できていそうで羨ましいです。とても気ままで素敵だと思います」

柳沼「一人でいる時幸せを感じますか？」

利用客 A さん「はい。友達という時も、もちろん幸せを感じますし楽しいのですが、あまり人とばかりいるとペースを合わせなくてはならず、疲れてしまうんです。だからたまには



一人でいたいんです」

柳沼「映画を観たあとに、感想などを言い合ったりしたくなりませんか？」

利用客 A さん「私の場合は一人で映画を観ても感想などはツイッターなどのソーシャル・メディアを用いて共有しています」

このカフェでは一人でも気兼ねなく入ることができるよう、一人用の席なども設置しているという。一人での利用客は平日の朝から夕方にかけて最も多いということから、他の人とは予定を合わせにくい時間帯を一人で楽しんでいることが分かった。また休日や平日の夕方以降といったそれぞれの用事が終わり集まりやすい時には、一人ではなく誰かと過ごしていることが分かった。インタビューのおかげで、一人でいる人は友達という時にも幸せを感じるという実際の話聞くこともできて良かった。

第7節 感想

私たちは、一人でいるときに幸せだと感じる人びとに焦点をあてて調査をおこなった。仮説をたてる段階では、ひとりを選ぶ人は周りに合わせて行動することが苦手な人物像を想定していた。

しかし、調査結果を見てみるとそうではなかった。一人でいるときに幸せを感じる人は、友人という時間も同じくらい大切だと考えているし、インタビューでは一人で映画を観ても感想をソーシャル・メディアで共有しているということが分かった。齊藤も、イベントやライブの感想をツイッターで発信することで、さらに楽しむことができているように思う。ソーシャル・メディアが発達した現在、「一人」の意味が変わってきているのかもしれない。

第3章 ダイエット

——ダイエットのためになにをしたことがあるか——

金子友里（班長）

大竹礼華（発送、入力担当）、杉山友美（分析担当）、濱彩華（調査票担当）

第1節 問題関心

海野弘『ダイエットの歴史』によれば、日本でダイエットという言葉が広がり始めたのは、1950年代以降の高度経済成長期だという。物流は発展し、ものが溢れ、暮らしは豊かになり、人びとの食欲も旺盛になった。欧米諸国への憧れから男性は筋肉質を、女性は曲線的なシルエットを理想とした。こうして身体はコントロールできるものとして、自己表現となっていた。その後ダイエットとエステがブームとなり定着した。

厚生労働省 2014 年度「健康意識に関する調査」によれば、自分自身の体型について「ちょうどよい」と思っている人が 46.3%であるのに対して、「太り気味である」と思っている人が 40.8%、「痩せ気味である」が 12.9%いた。

では、人びとはどのようなダイエットをしているのだろうか。その結果、現在の健康にどのような影響を与えているのだろうか。そこで、以下の仮説を立てた。

仮説 1：女性ほど、甘いものが好きなので、ダイエットをするためにまず甘いものを控えるだろう。既婚者ほど、お金をかけずにダイエットをしようとするため、甘いものを控えるだろう。

仮説 2：ダイエットのために甘いものを控える人ほど、さらなるダイエット効果を求めるため、全体の食事量も減らすだろう。甘いものを控える人ほど、美容だけではなく健康への関心も高まるため、健康になるだろう。

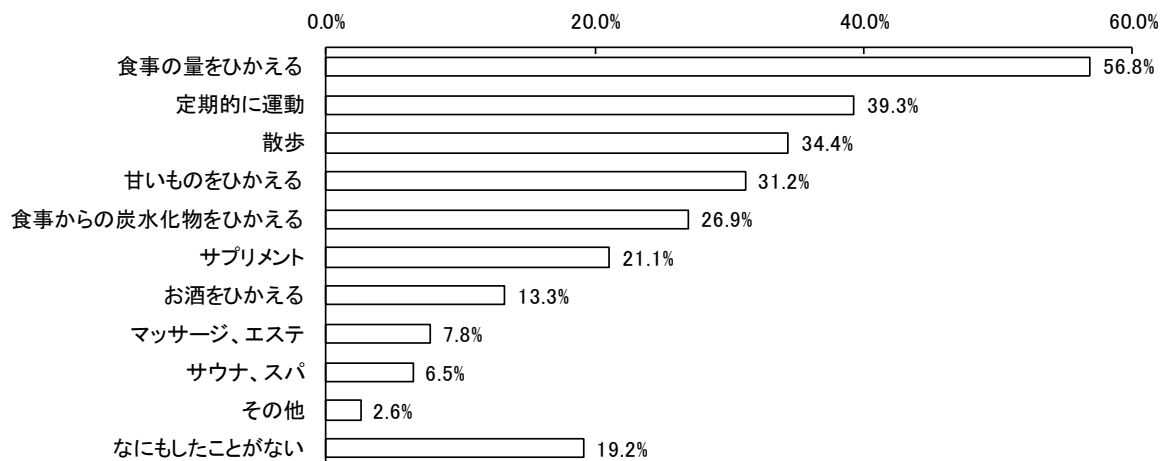


メンバー



インタビュー調査 ヘルシーなドーナツ

問 11 あなたはこれまで、ダイエットのために、なにかしたことがありますか（〇はいくつでも）



第 2 節 集計結果

問 11 で、ダイエットの経験について質問した。単純集計表から、ダイエットのためには全体の食事量を控える人がもっとも多く 56.8%いた。続いて、定期的に運動をすると回答した人が 39.3%、散歩を行う人が 34.4%だった。甘いものを控える人は 31.2%だった。一方、お金をかけるような、サウナ、スパに行くという人は 6.5%、マッサージ、エステをする人は 7.8%と少なかった。

食事の量を減らす人が多いのは想像通りだった。杉山も甘いものを控え、食事量を減らしたことがある。

第 3 節 原因の分析

第一に、甘いものを控えるダイエットをおこなったのは、男性のうち 16.5%、女性のうち 43.2%だった。カイ二乗検定の結果、女性ほど甘いものを控えるダイエットを有意におこなっていた。私たちは、女性ほど甘いものを好むので、ダイエットをするためにまずそれらを控えると予想した。確かにこの班の女性メンバーも甘いものが好きで、それらを控えた経験があった。金子は、友人にお菓子を勧めたが、「ダイエットをしているから」という理由で断られたことがある。

第二に、女性ほど甘いものを控えるダイエットをおこなったのは、未婚者のうち 22.8%、既婚者のうち 35.6%だった。カイ二乗検定の結果、既婚者ほど甘いものを控えるダイエットを有意におこなっていた。私たちは既婚者ほど、お金をかけずにダイエットをしようとするため、まず甘いものを控えるダイエットから始めると予想した。大竹の両親も健康と節約のために、お金をかけずに甘いものを控えるダイエットをおこなっていた。以上から、仮説 1 は支持された。

第4節 結果の分析

第一に、食事量を控えるダイエットをしたことがあったのは、甘いものを控えた人のうち 78.1%、そうでない人のうち 47.2%だった。カイ二乗検定の結果、甘いものを控えるダイエットをおこなったことがある人ほど、食事量を控えるダイエットを有意におこなっていた。甘いものを控えても、全体の食事量が多ければダイエットの効果は望めないなので、このような結果になったのは自然だろう。

ところが第二に、現在健康な人は、甘いものを控えた人のうち 39.6%、それ以外の人のうち 43.9%だった（健康は問 9 アで現在の健康状態が 4 良い、5 とても良いの合計）。カイ二乗検定の結果、甘いものを控えるダイエット経験者もそうでない人も、同じくらい健康状態がよいと感じていた。もともと健康に不安のある人が、ダイエットを開始したためかもしれない。以上から、仮説 2 は部分的に支持された。

第5節 フィールド調査

2014 年 5 月に、班員全員で西東京市保谷保健福祉総合センターの健康課と高齢者支援課で、フィールド調査を実施した。健康課の職員に話を聞いたところ、健康課に訪れる人はさまざまな年齢の人がいるが、予防接種や各種健診など、母子保健に関することを聞きに来る女性が多いとのことだった。高齢者支援課では、介護保険や高齢者サービスについて聞きに来る方が多いそうだ。保健福祉総合センターには、私たちと職員以外にほとんど人の姿がなく、静かなところであった。

第6節 インタビュー調査

2014 年 10 月に、吉祥寺駅近くのドーナツ店 A にて従業員 B さんにインタビュー調査を実施した。この店はヘルシーなドーナツを主軸としている。B さんは 30 代の女性で、店内でのインタビューを快く引き受けてくれた。

金子「客層について、男女差や年齢層を教えてください」

B さん「お客様の 9 割は女性です。年齢層は幅広いですが、私の勤務しているランチタイムは学生より大人の方が多いですね」

金子「子どもを連れている方もいますか」

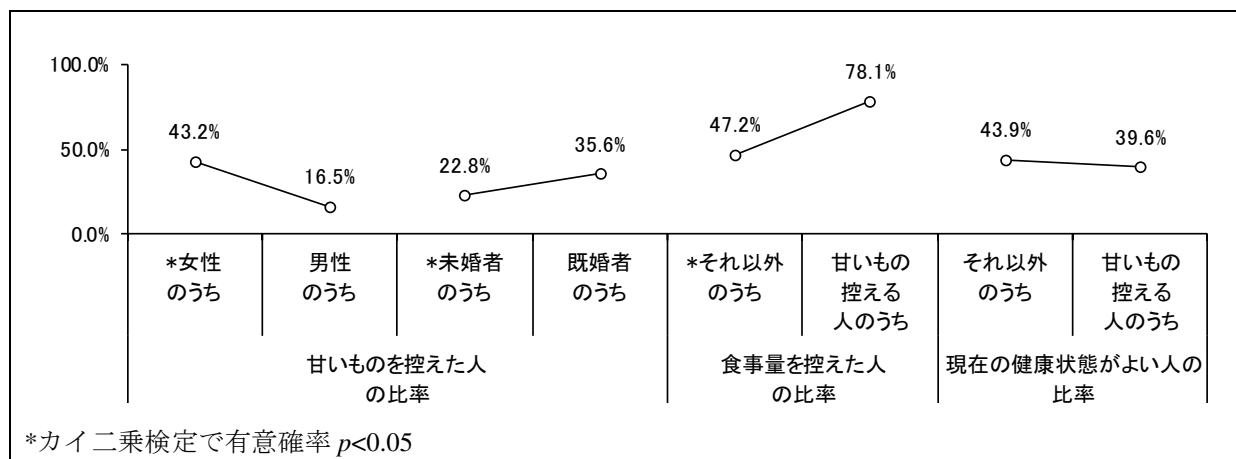
B さん「小さいお子さんと一緒に来るお母さんや高齢者の方も多いです。これは吉祥寺という土地柄も関係しているかもしれませんね」

濱「なるほど。健康に気を付けているお客さんは多いですか」

B さん「そうですね、商品のカロリーを聞くお客さんも稀にいます」

杉山「そのような方はヘルシーな商品のみ購入するのでしょうか」

B さん「カロリーによって商品を選ぶというよりは、食べたいものが決まっていて、そのカロリーを聞く方が多いです。健康よりもおいしさを求めているといった様子です」



アンケート調査では女性ほど、また既婚者ほど、甘いものを控えるという結果が出たが、実際にもインタビュー調査で裏付けられたようだった。ただ、健康を意識していそうな人が少ないというのは、意外だった。濱は、ドーナツ店 A を利用したことがあり、ランチタイムは確かに小さい子供連れの母親の姿が多かった。自分のためというよりは、子供のために安心して食べられる天然素材を使ったものを選んでいる人が多いように感じた。

第 7 節 感想

ダイエットは私たちが経験したことのある身近なものだったので、親しみやすいテーマだった。

苦労した点はインタビュー調査をおこなった時間が、お店が開店したばかりの時間であったため、忙しく働いている従業員の方に声をかけづらかったことである。その後もお客様が来るとインタビューが中断してしまうので、インタビューの流れを切らないように話題をつなげるのが難しかった。

現在さまざまなダイエット方法があるが、食生活や生活習慣にも気を使うことが大切なようだ。今後は、私たちも健康的なダイエットを心がけていきたい。

第4章 アンチエイジング

——なにをしたことがあるのか——

栞原紗織（班長）

安念綾香（発送、入力担当）、仲澤桃子（調査票担当）、古山尚貴（分析担当）

第1節 問題関心

小林裕美『自分でできるアンチエイジング』によれば、アンチエイジングとは「抗加齢」という意味である。美容や健康を目的とし、機能性食品を用いた食事や、ウォーキング、有酸素トレーニングなどの運動がある。さらに、近年ではアンチエイジングを目的とした化粧品が多くメーカーから発売されている。

インテージ「女性のアンチエイジングに対する意識」によれば、2011年の基礎化粧品の市場規模は1兆471億円で、そのうちアンチエイジング化粧品は2,712億円で25.9%だった。アンチエイジングに女性のうち78.6%が興味があるという。年代別でみると、もっとも興味があるのは50代、次いで30代、40代だった。

では、アンチエイジングが人びとの意識にどのような影響を与えているのだろうか。そこで、私たちは以下の仮説を立てた。

仮説1：女性ほど、外見に気を遣うので、アンチエイジングの化粧品を使うだろう。既婚者ほど、配偶者のために若々しくいたいと思うので、アンチエイジングの化粧品を使うだろう。

仮説2：アンチエイジングの化粧品を使う人ほど、効果が表れるので、ルックスがよいだろう。体も若返りたいと思うため、アンチエイジングのための運動をしているだろう。

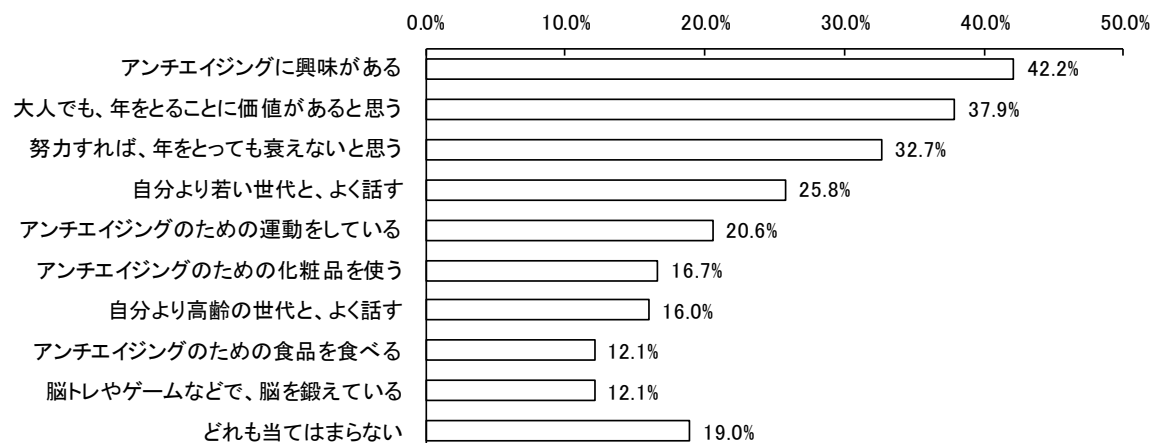


メンバー



フィールド調査 百貨店の化粧品売り場

問 12 アンチエイジング（老化予防）について、あなたには以下のことがあてはまりますか（○はい くつでも）



第 2 節 集計結果

問 12 で、アンチエイジングについて質問した。単純集計表から「アンチエイジングに興味がある」という人が最も多く、42.2%いた。続いて、「大人でも年をとることに価値がある」と思う人が 37.9%いた。「努力すれば年をとっても衰えない」と思う人は 32.7%だった。アンチエイジングのための化粧品を使う人は 16.7%、アンチエイジングのための運動をしている人は 20.6%だった。

アンチエイジングに興味がある人や、実際に行動している人が多かった。安念は、予想以上に若返ることに積極的な姿勢を持っている人が多いことに気付いた。

第 3 節 原因の分析

第一に、アンチエイジング化粧品を使っていたのは、男性のうち 6.5%、女性のうち 25.0%だった。カイ二乗検定の結果、女性のほうがアンチエイジング化粧品を有意に使っていた。私たちの予想通りだった。振り返ってみると栞原は、中学生の頃から友人に影響を受け化粧をしたり、美容に関する話を周囲としていたが、男子にはそのような人はいなかった。

第二に、アンチエイジング化粧品を使っていたのは、既婚者のうち 20.6%、未婚者のうち 7.9%だった。カイ二乗検定の結果、既婚者ほどアンチエイジング化粧品を有意に使っていた。既婚女性は、未婚女性よりもはるかに「夫のためにいつまでも若々しく綺麗でいたい」という気持ちが芽生えるようだ。安念は、既婚者の友人が、自分と同じ年なのに「エイジング化粧品を使用している」と聞いたことがある。以上から、仮説 1 は支持された。

第 4 節 結果の分析

第一に、自分のルックスがよいと思っていたのは、アンチエイジング化粧品を使う人のうち 47.1%、使っていない人のうち 30.8%だった（ルックスは問 10 で 0 最小～11 最大のうち 6 以上の回答者の比率）。カイ二乗検定の結果、アンチエイジング化粧品を使う人ほど、ルック

スが有意によかった。アンチエイジング化粧品を使うことで効果が表れ、自分の容姿に自信を持つことができるのだろう。実際古山の母もアンチエイジング化粧品を使ったら、「使用前よりも綺麗になれた」と喜んでいて、気持ちも明るくなったようで、着る服装も若々しいものになった。

第二に、アンチエイジングのための運動をしていたのは、アンチエイジング化粧品を使う人のうち 33.3%、使っていない人のうち 18.0%だった。カイ二乗検定の結果、アンチエイジング化粧品を使う人ほど、アンチエイジングのための運動を有意におこなっていた。外見に自信が出てくると、さらに内側からも綺麗になりたいと思うのだろう。仲澤の祖母は、老化を少しでも食い止めたいと太極拳に独学で挑戦していた。その結果、96 歳まで病気にならず元気に生涯を終えた。このことから、より健康的になるために運動をすることが、私たちの間でも浸透しているようだ。以上から、仮説 2 は支持された。

第 5 節 フィールド調査

2014 年 10 月に、班員全員で東急百貨店吉祥寺店でフィールド調査を実施した。1 階の化粧品売り場には、平日午前にもかかわらず、すでに女性客が各店舗に 2~3 人ほどいた。販売しているものが化粧品やサプリメントということもあり、店内に入ってくるのは女性客がほとんどであった。すべての店舗でアンチエイジングの化粧品が販売されていて、どの店舗でも売れ筋商品として大きく宣伝されていた。

第 6 節 インタビュー調査

2014 年 10 月に、東京都内にある化粧品専門店の従業員 A さんに、インタビュー調査を実施した。20 代の女性であった。勤務中で店内に、数名のお客様もいるため、インタビューは 10 分ほどで終わらせた。忙しい中、A さんは私たちの質問ひとつひとつに丁寧に答えてくれた。

安念「アンチエイジングの化粧品を購入される方の年齢層を教えてくださいか」

A さん「40 代~50 代の方だけでなく、20 代~30 代の若い方、幅広い年代の方が買って行かれますよ」

安念「どんな商品が人気ですか」

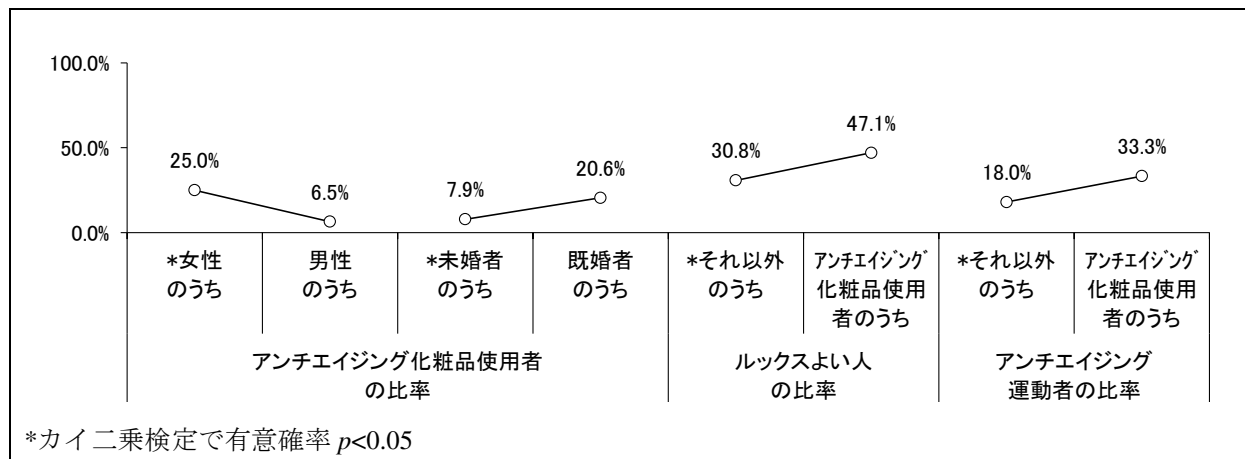
A さん「化粧水ですね。あとは化粧水や乳液などすべて入ったオールインワンの商品も人気ですね。成分など気にされる方も多く、皆さん自分の症状や肌に合った商品を購入されます」

安念「皆さん平均いくらくらい購入しますか」

A さん「人それぞれですが、1 万円前後の方が多く皆さんけっこうお金をかけられています」

安念「今後売れそうなのはどのような商品だと思いますか」

A さん「シワを気にされているお客様が多いので、内側からケアするものや、部分的にケアできる商品などが売れるのではないかと思いますね」



安念「それでは、買いに来られるお客様は美意識の高そうな方が多いのでしょうか」

A さん「お洋服やメイクなど、少し派手な方を皆さんイメージされるかもしれませんがそんなことはなく、70～80代の年配の方も『今更だけど』といいつつ買いに来られます。本当に幅広い方がいらっしゃいます」

仮説通り、店内にいたお客さんも女性しかいなかった。また、美容に気を遣っている人はファッションにも気を遣い美意識の高い人が多いと思っていたが、そうではないことが意外だった。店内が混雑してきてしまったため、少し急いでのインタビューになってしまったのが残念だった。

第7節 感想

アンチエイジングは私たちにあまり馴染みがないことだったので、調査をしていて新しい発見ばかりだった。苦労した点は、当初フィールド調査を実施しようと思っていた場所では、忙しかったこともあり、あまりよい顔をしてもらえず、インタビューできなかったことである。とはいえ、それも含めてよい経験になった。

今回インタビュー調査の売り場は客で賑わっていて、女性のアンチエイジング化粧品への関心の高さがうかがえた。美容は女性にとってとても大事な要素である。今後アンチエイジング化粧品がさらに普及することで、多くの女性が自身の美容に更なる磨きをかけることができるであろう。

第5章 不満

——なにに不満があるのか——

古條愛梨（班長）

大竹心平（発送、入力担当）、木原睦（調査票担当）、戸谷瞳（分析担当）

第1節 問題関心

宮本常一『生きていく民族』によれば、かつて職業は家業として受け継がれてきたものが多かった。その後、産業発展と都市化によって、家業がしだいに消えていった。明治時代になると、官吏・会社員・工場労働者・新しい交通業者など、今までにはなかった職業が次々に誕生した。新産業にともなって新しい考え方が生み出され、職業に出身は関係ないという意識が強くなった。

内閣府 2008 年「国民生活選好度調査」によれば、仕事に満足感を持つ人は 1978 年以降長期的に減少している。1978 年から 1980 年代前半には、「雇用の安定」「仕事のやりがい」に関して満足している人は 30%以上いたのに対し、2005 年には半分近い約 15%前後まで減った。

「収入の増加」に満足している人は当初 20%以上いたものの、2005 年には 6.2%へと減少した。

では、仕事に不満を持つことが、モチベーションや仕事量といった「働きぶり」にどのような影響を与えるのだろうか。そこで、私たちは以下の仮説を立てた。

仮説 1：男性ほど、重労働を任されることが多いので、仕事内容に不満があるだろう。未婚者ほど、守るべき家族がいないので仕事へのモチベーションが低いため、仕事内容に不満があるだろう。

仮説 2：仕事内容に不満がある人ほど、モチベーションが下がるので同僚の仕事量より少ないだろう。仕事量が少ないため収入が減るので、自分の収入に不満があるだろう。

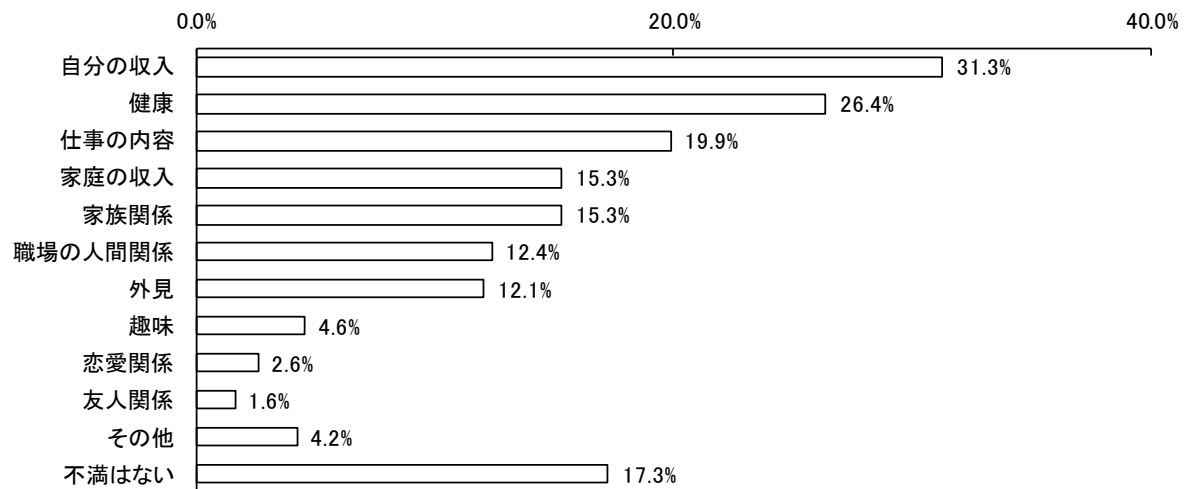


メンバー



インタビュー調査 西友保谷店

問 14 現在、なにか不満はありますか（〇はいくつでも）



第 2 節 集計結果

問 14 で、現在の不満について質問した。単純集計表から、自分の収入に不満がある人が最も多く 31.3%、健康が 26.4%いた。続いて、仕事の内容に不満がある人が 19.9%だった。家庭の収入に不満がある人は 15.3%だった。

自分の収入に不満がある人は予想通り多かった。古條と大竹は塾講師のアルバイトをしているが、自分の収入に不満があっても仕事の内容には不満がなかった。

第 3 節 原因の分析

第一に、仕事内容に不満を持っていたのは、男性のうち 25.4%、女性のうち 15.4%だった。カイ二乗検定の結果、男性のほうが仕事内容に有意に不満を持っていた。私たちは、男性ほど転勤や車での外回りなどの重労働を任されることが多いので、仕事の内容に不満があると予想した。古條は飲食店のアルバイトで、重い品を運ぶ際に男性に任せがちだった。その男性は快く受け入れてくれたが、心の中では不満を感じていたのかもしれない。

第二に、仕事内容に不満を持っていたのは、既婚者のうち 17.6%、未婚者のうち 24.8%だった。しかし、カイ二乗検定の結果、不満は婚姻状態と無関係だった。私たちは、未婚の人ほど、仕事内容に不満があるのではと予想した。仕事を大学の課題などに置き換えて考えると、私たちも他に学びたいことがあるという理由で課題に不満を感じることもある。したがって、仮説 1 は部分的に支持された。

第 4 節 結果の分析

第一に、同僚と比べて仕事量が多かったのは、仕事内容に不満がある人のうち 56.6%、そうでない人のうち 32.5%だった（仕事量は問 23 アで同僚の仕事量とくらべて 4 やや多い、5 多いの合計）。カイ二乗検定の結果、仕事内容に不満がある人ほど、有意に仕事量が多かった。

これは私たちにとって意外な結果となった。仕事の内容に不満がある人ほど、モチベーションが低いので同僚と比べて仕事量が少ないはずと予想したが、実際は逆であった。仕事内容に不満があると、テキパキと仕事をこなすことができず、かえって残業などが増え、仕事量が多くなってしまうのかもしれない。木原はアルバイトで、仕事内容に不満を感じたため、だらだらやったり後回しにしたりした。その結果、勤務時間を超えてしまい、余計に仕事量が多く感じたということがあった。

第二に、自分の収入に不満を持っていたのは、仕事内容に不満がある人のうち 44.3%、そうでない人のうち 28.0%だった。カイ二乗検定の結果、仕事内容に不満がある人ほど、自分の収入に有意に不満を持っていた。仕事内容に不満があると仕事に身が入らず、そのため収入が増えないだろうから、自分の収入に不満を持つのだろう。以上から、仮説 2 は部分的に支持された。

第 5 節 フィールド調査

2014 年 11 月に、古條と戸谷が三鷹にある京王自動車の吉祥寺整備工場で、フィールド調査を実施した。ここは 2 階にタクシーの営業所があり、1 階に整備工場が設けられていた。整備工場ではタイヤ交換や自動車を磨く作業を行っており、整備作業はすべて男性が担当していた。

ここで働く人は 9 割方男性で事務所に女性が 1 人いるだけだった。やはり力仕事は男性に任せがちであり、とくに今回の整備工場のようなところでは男性の人手が必要不可欠であることが分かった。

第 6 節 インタビュー調査

2014 年 11 月に、戸谷が西東京市にある西友保谷店に行き、管理職の 40 代男性 S さんにインタビュー調査を実施した。忙しい中ではあったが、休憩室で 10 分程度答えてもらった。

戸谷「この職場で、どのような仕事をしていますか」

S さん「副店長の仕事としてはお店の管理をしています。他は品出しや接客で周りの人とやることは変わりませんね」

戸谷「仕事の内容で不満な点はありますか」

S さん「役職が上がってもやることが変わらないことですね。本当ならお店の管理をするはずだけど、実際のところは主に接客です」

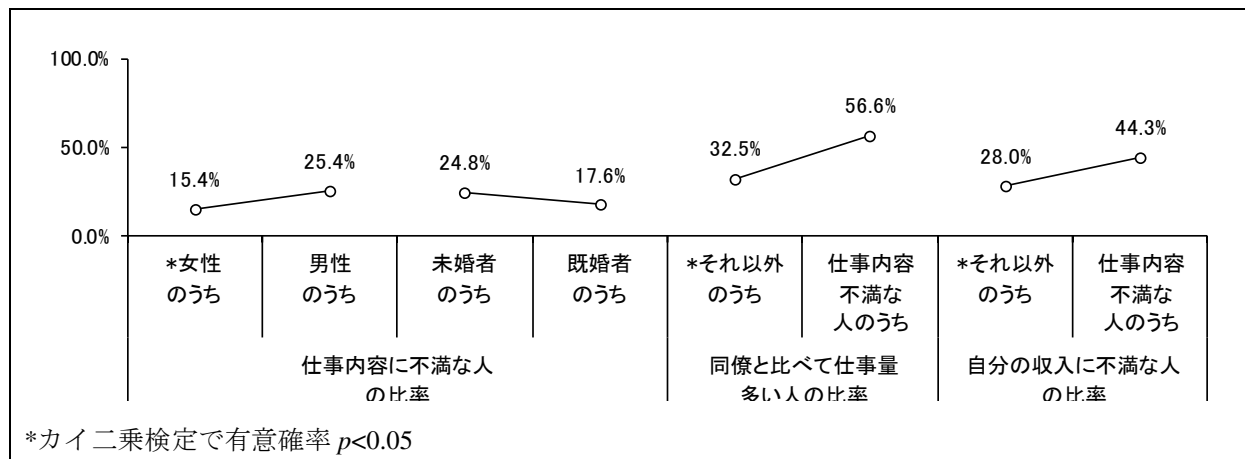
戸谷「自分の収入に満足していますか」

S さん「不満ですね。自分の収入に満足している人、そんなにいないと思います」

戸谷「仕事量は同僚に比べてどう思いますか」

S さん「店舗によって全然違いますが、店内で考えれば普通だと思います」

S さんは人と接する大変さも知っているが、今の接客業が楽しいと答えており、自分の職



業にやりがいを感じているようだった。戸谷は役職が上がると仕事内容も変わると思っていたので、管理職という立場でも他の人と業務内容があまり変わらないことが意外だった。

第7節 感想

今回私たちは生活への不満について調査をした。満足にかんするデータは多数あるが、不満にスポットを当てたものはあまりないため、やりがいを感じながら進めることが出来た。苦労した点は、やはりテーマがネガティブなものであることから、私たち自身の気持ちも時折暗くなってしまったことである。

今回調査を行い、不満はないという人が予想していたより多かった。たしかに不満はないに越したことはない。とはいえ、不満を感じることは、自然な感情の1つであるように思う。不満を持たぬように心掛けつつも、対峙した際は、その原因を考えて適切に処理出来るような人になりたいと思う。さらに、私たちは来年に就職活動を控えているので、自分が満足できるような内容の仕事に就くことができれば理想的である。

第6章 幸福意識

——現在の幸せに満足しているのか——

遠藤佳那子（班長）

小田原佑汰（調査票担当）、金田萌瑛（発送担当）

清水明日香（分析担当）、沼田由奈（入力担当）

第1節 問題関心

日本国憲法 13 条によれば、「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」とされている。幸福追求権が、基本的人権として保障されている。さかのぼると、アメリカ独立宣言は、幸福追求を人間の基本的な権利として明示した。

2010 年日本版総合的社会調査（JGSS）によれば、「あなたは、現在幸せですか」と質問し、幸せという人は 83.2%いた（5 段階のうち 5 幸せ、4 やや幸せの合計）。2011 年度国民生活選好度調査では、「現在あなたはどの程度幸せですか」という質問に、幸せと回答した割合が 8 割を超えた。つまり、おおむね 8 割以上の人が「自分はいま幸せだ」と考えているようである。

では、人びとは現在の幸せに満足しているのだろうか。現在の幸せに満足している人は、どのような人だろうか。そこで、私たちは以下の仮説を立てた。

仮説 1：既婚者ほど、夫婦で幸せを共有できるから、現在の幸せに満足しているだろう。現在幸せな人ほど、すでに幸せなので、現在の幸せに満足しているだろう。

仮説 2：現在の幸せに満足している人ほど、気持ちに余裕があるはずなので、ストレスが少ないだろう。前向きに生活できるだろうから、生活に満足しているだろう。

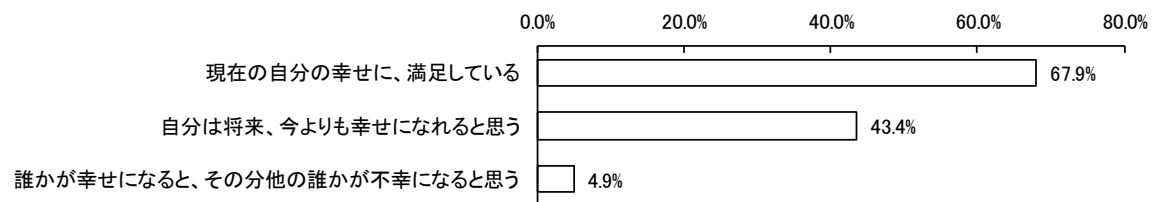


メンバー



インタビュー調査 都内の結婚式場

問 15 以下の意見を、あなたはどのように思いますか（○はそれぞれ 1 つ）



第 2 節 集計結果

問 15 カ、キ、クで、幸福意識について質問した（5 段階のうち「そう思う」と「ややそう思う」の合計を集計）。単純集計表より、現在の自分の幸せに満足している人は 67.9%いた。自分は将来今よりも幸せになれると思う人は 43.4%で、誰かが幸せになるとその分他の誰かが不幸になると思う人は 4.9%だった。

現在の自分の幸せに、満足している人は想像通り多かった。自分は将来、今よりも幸せになれると思う人が半分以下だったのは意外だった。ただ、私たちは就職活動を控えているため、将来今よりも幸せになれるかどうかに不安もある。

第 3 節 原因の分析

第一に婚姻状態別では、現在の幸せに有意に満足していたのは、既婚者のうち 76.0%、未婚者のうち 52.5%だった。カイ二乗検定の結果、既婚者ほど現在の幸せに有意に満足していた。私たちは、既婚者ほど幸せを共有できるから、幸せに満足しているだろうと予想した。既婚者は未婚者に比べて気兼ねなく話せる相手が配偶者としてすぐそばにいて、悩みなどを相談しやすいからだろう。

第二に、現在の幸せに満足していたのは、現在幸せな人のうち 77.3%、それ以外のうち 2.6%だった。カイ二乗検定の結果、現在幸せな人ほど現在の幸せに有意に満足していた。清水と沼田は、小学生の時あまり幸福を感じなかった。しかし、現在は友達に恵まれて幸せだと思っていて、現在の幸せに満足している。以上から、仮説 1 は支持された。

第 4 節 結果の分析

第一に、ストレスがなかったのは、幸せに満足している人のうち 14.6%、それ以外のうち 6.2%だった（ストレスは問 9 イで 4 ない、5 全くないの合計）。カイ二乗検定の結果、現在の幸せに満足している人ほど、有意にストレスがなかった。現在の幸せに満足している人は、多少不満があっても、幸せであることを実感しているから、ストレスがないのだろう。

第二に、生活に有意に満足していたのは、幸せに満足している人のうち 93.6%、それ以外のうち 32.6%だった（生活満足は問 13 で現在の生活について、2 やや満足、1 非常に満足の合計）。カイ二乗検定の結果、現在の幸せに満足している人ほど、生活に有意に満足していた。私たちも現在の自分の幸せに満足していて、生活に不満がなく過ごしている。たとえば沼田

は部活後に、ビールを飲めば幸せを実感するし、生活に不満がない。以上から、仮説 2 は支持された。

第 5 節 フィールド調査

2014 年 5 月に、金田と遠藤で中央区霞ヶ関の東京地方裁判所へいった。民事裁判で、学生同士の喧嘩により目に障害を負ったため、被害者が損害賠償を求めている。裁判傍聴は初めての経験で、とても緊張感があった。7 割の人が現在の幸せに満足していると答えた反面、幸せを感じにくい状況にある人もいるのだとあらためて実感した。

第 6 節 インタビュー調査

2014 年 11 月に、都内の結婚式場で結婚プランナーの男性 A さんに、インタビュー調査を実施した。匿名だという条件下のもと、快くインタビューに応じてくださった。とても気さくな方で楽しく行うことができた。

小田原「どれくらいの年齢層の方が結婚式をあげるのですか」

A さん「そうですね。今では晩婚化もあってかあまり若い方で結婚式をあげる方は多くないですね。それに、けっして安いわけではありませんからね。金額的にも少し厳しいのかも知れませんが」

小田原「結婚式をあげた方は幸せそうでしたか」

A さん「それはもちろん。とても幸せそうに見えますよ。私は結婚式をあげた方々の笑顔を見ると、この仕事をしていてよかったと思います。幸せになってもらえるよう、一生に一度のイベントを全力でサポートします。それに新郎新婦の方だけではなく、その家族の方たち、親戚方、お友達、同僚の方、皆様が幸せですよ」

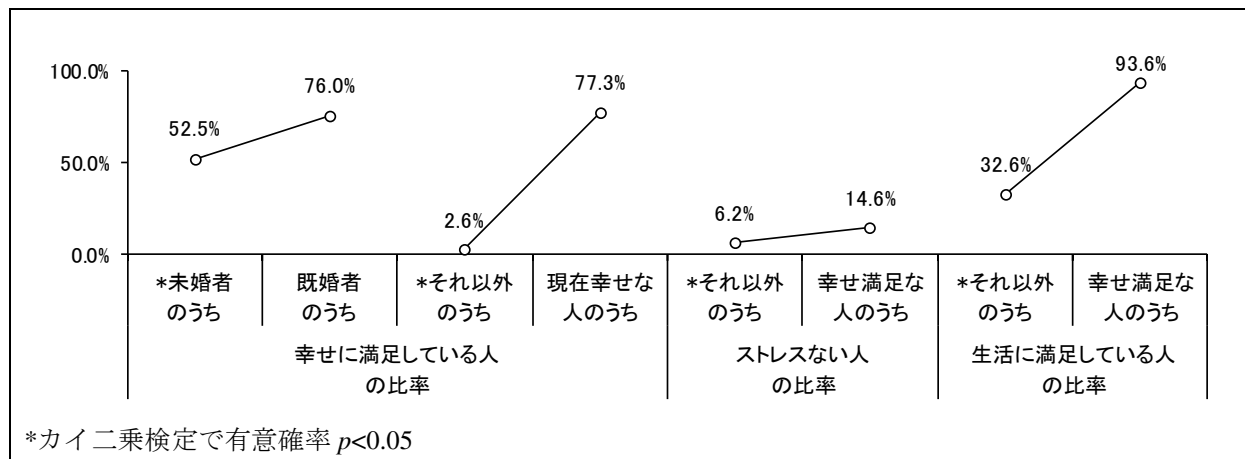
小田原「結婚式をあげる方々の中でストレスを抱えていそうな人は、A さんからみていたでしょうか」

A さん「一概には言えませんが、私は結婚式のセッティングをするにあたり、まずはお話をさせていただくのですが、やはりお金のことで悩んでいる方が多いですね。見積もりだけして諦めてしまう方もいらっしゃいます。そういう時、私はとても残念に思います。せっかくの幸せな出来事なのに、私はそういった方を助けることができないってね」

A さんによると、結婚式をあげた方には「その後幸せで満足な生活を送っています」と報告してくれる人がいるのだそうだ。ただ、結婚式に着目すると、「幸せならストレスを抱えていないだろう」という私たちの予想は、かならずしも成立するわけではないと分かった。

第 7 節 感想

幸せの感じ方や、大きさは人によってそれぞれ異なる。また、普段から幸福感を意識して



いるわけではない。そのため、仮説を立てる段階で、人びとはどんな時に幸せを感じるかについて想像することに苦勞した。しかし、あらためて幸福について考えると、たとえ一瞬でも幸せを感じることができるから人びとは生きていけるのだろうと思った。

今回の調査では、7割近くの人が自分の幸せに満足しているという結果に、嬉しさも感じた。生活していく上で幸せであることに越したことはないだろう。

私たちは現在、とくに不自由することなく生活できている。しかし、世界に目を向ければ貧困や紛争やテロなどさまざまな問題がある。だからこそ、今私たちが置かれている幸せな環境が、けっして当たり前ではないことをしっかりと認識すべきだと思った。

第7章 家族意識

——男は男らしく、女は女らしくするべきか——

新津稜平（班長）

内田知佳（発送担当）、勝瀬恭子（分析担当）、齊藤明美（調査票担当）、那須葵（入力担当）

第1節 問題関心

服部早苗『歴史のなかの家族と結婚』によれば、性別役割分業意識は明治時代に誕生した。当時、男は兵士として働き、女は家を守る良妻賢母となるべきという思想が普及した。しかし、第二次世界大戦後、女性が働き社会進出が目立つようになり、だんだん家族の形が変わってきた。

内閣府 2012 年度「男女共同参画社会に関する世論調査」によれば、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきかという質問にたいし、男性 55.1%、女性 48.4%がそうすべきと回答した。このように、まだまだ現在でも性別役割分業意識は根強いようだ。

では、現代の人びとは男女のあるべき姿についてどう考えているのだろうか。そこで、私たちは以下の仮説を立てた。

仮説 1：男性ほど、体裁を重視するため、「男は男らしく、女は女らしくすべき」と考えるだろう。年配の人ほど、学校教育や家庭内で男女の役割が明確だったので、「男は男らしく、女は女らしくすべき」と考えるだろう。

仮説 2：「男は男らしく、女は女らしくすべき」と考える人は、理想の異性像があるため、結婚に恋愛感情が必要だと考えるだろう。自分の理想のために自分磨きをするため、ルックスがよいだろう。



メンバー



インタビュー調査 上野動物園総合案内所

問 20 以下の意見を、あなたはどのように思いますか（○はそれぞれ 1 つ）



第 2 節 集計結果

問 20 で、家族意識について質問した（5 段階のうち「そう思う」と「ややそう思う」の合計を集計）。単純集計表から、結婚するためには恋愛感情が必要だと考える人は 83.0%いた。「男は男らしく、女は女らしくすべきだ」という性別役割分業意識を持つ人は、37.3%いた。「今後家族の重要性が減っていくと思う」と答えた人は、16.1%と少なかった。

結婚に恋愛感情が不可欠と考えている人は、予想通り多かった。しかし、性別役割分業意識を持っている人が予想よりも多かった。齊藤は、「現代社会ではすべて男女平等にすべき」という考えが支配的と予想していたので、この結果は意外だった。

第 3 節 原因の分析

第一に、性別役割分業意識を持っていたのは、男性のうち 46.0%、女性のうち 29.9%だった。カイ二乗検定の結果、男性のほうが性別役割分業意識を有意に持っていた。私たちは、男性ほどかっこつけたがるだろうと予想した。子供のころから男は、戦隊ものやウルトラマンなどのヒーローに憧れ、また読む本や漫画も男らしさやかっこよさが表れているものだろう。それは大人になっても変わらず、女性がファッション誌を読むのに対して、男性は未だに少年誌を好む人が多い。これが男性のほうが男らしさ、女らしさを求める理由ではないかと考える。新津は、現在でも読む本がほとんど少年誌である。

第二に、性別役割分業意識を持っていたのは、30代以下のうち 30.0%、40代以上のうち 40.3%だった。しかし、カイ二乗検定の結果、性別役割分業意識は年齢と無関係だった。班員のほとんどの両親が、学校で女子は家庭科、男子は技術科とわけられて授業を受けていた。このようにかつては今より男女意識がはっきりしていたと予想していた。そのため、私たちにとって差がなかったのは意外だった。以上から、仮説 1 は部分的に支持された。

第 4 節 結果の分析

第一に、結婚には恋愛感情が必要だと思っていたのは、性別役割分業意識を持つ人のうち 91.2%、それ以外のうち 78.1%だった。カイ二乗検定の結果、性別役割分業意識を持つ人ほど、結婚に恋愛感情が必要だと有意に思っていた。男らしく、女らしくと考えている人は、結婚相手にもそれを望むので、恋愛感情が必要なのではないかと予想した。たしかに、那須の家族や親戚は、夫は仕事、妻が家事中心という役割分担をしており、いっぽうで全員が恋愛結

婚をしていた。

第二に、自分のルックスがよいと思っている人は、性別役割分業意識を持つ人のうち37.7%、それ以外のうち31.2%だった（ルックスは問10で0最小～11最大のうち6以上の回答者の比率）。カイ二乗検定の結果、性別役割分業意識を持つ人とそうでない人の間に、ルックスの自己評価の差はなかった。そうした意識を持つと、男らしさ、女らしさの理想が明確になるので自分磨きをするだろうと予想していた。そのため、この結果は意外であった。男らしさ、女らしさというのは外面よりも、内面に現れるものかもしれない。たしかに、勝瀬の見る漫画で男らしい、女らしいと思われている登場人物は、容姿よりも言動がその理由になっていることが多いので、人は外面よりも内面に男らしさ、女らしさを感じるのではないかと思った。以上から、仮説2は部分的に支持された。

第5節 フィールド調査

2014年11月に、新津、那須、勝瀬が東京都文京区にある東京ドームシティでフィールド調査を実施した。東京ドームシティは総合レジャー施設であり、遊園地、ショッピングセンター、東京ドームが併設されている。調査をおこなったのは日曜日であり、利用客の多くが子供連れの家族であった。年齢層は若い人が多かった。アトラクションには子供向けの乗り物や催し物が多く、たくさんの子供が参加をしていた。

子ども連れの家族に注目してみると、妻が子どもと手をつないだり抱っこをしている一方で、夫はベビーカーを押したり荷物を持っていることが多かった。ここにも男女の意識の差があるだろうと思った。

第6節 インタビュー調査

2014年11月に、東京都台東区の上野動物園に行き、総合案内所の受付の20代女性Aさんにインタビュー調査を実施した。終始和やかな雰囲気で行われた。

内田「お客様の年齢層は、どれくらいが多いのでしょうか」

Aさん「メインは子供連れのお客様です。また、意外と多いのがお年寄りのお客様ですね」

内田「なるほど。子供連れのお客様は、両親ともに来てますか。それとも母親だけとかですか」

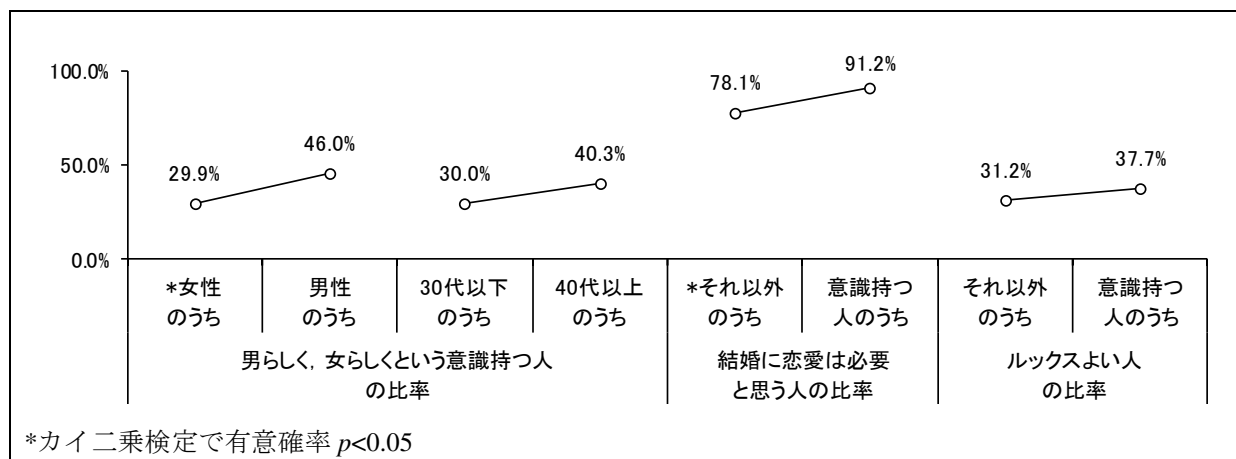
Aさん「基本的には平日は母親が連れてきていますね。休日になると両親そろっておこしになられますね」

内田「カップルはけっこう来ますか」

Aさん「はい。いつもたくさんいますよ」

内田「お客様の服装はどんな感じの人が多いですか」

Aさん「あまりしっかりした服装で来る人はいないですね。高いヒールで来る人もいれば、スニーカーの人もいますし。軽装が多いでしょうか」



私たちの班の仮説について説明し、実際どうなのかを質問したところ、相手も分からないことが多かったようである。そこで私たちは、恋愛結婚をカップル、ルックスを服装に置き換えて質問をしてみた。結果としては、仮説の検証にはあまりならなかったが、動物園は家族やカップルの集まる場所で、家族意識というものがよく表れていると動物園を周って感じた。

恋愛し家族を作ることは、新しい命を誕生させることになる。内田の両親はお見合い結婚だが、小さい頃にその事を知って少しがっかりした覚えがある。内田は小さい頃から、恋愛して結婚する事が素晴らしいとだと思っていたので、両親がそれに該当しないことが残念だった。

第7節 感想

「男は男らしく、女は女らしくすべきだ」という考えは昔からあるが、私たちの班にはそのような意識を持っている人がいなかった。そのため、古風に考える人たちが、ほかにどのような意識を持っているのかを予想するのはなかなか大変だった。

男女平等がうたわれる今の時代でも、性別役割分業意識を持つ人が約40%いた。芸能界では最近いわゆる「オネエ」タレントを多く見るようになったが、それでも日本にはまだ男女の区別は根強く残っているのではないかと感じた。しかし、これから先10年20年後にはどうなっているのかはわからない。性別役割分業がどのように変化するのか、しないのか、楽しみである。